



- ◆ 1 ページ
- ・センター事業紹介「教員長期研修」
  - ・学校紹介(城山中学校)

- ◆ 2 ページ 教育最前線
- ・ I 「アクティブ・ラーニング」を見据えた授業『中学校美術科』
  - ・ II 教育委員会発！情報FLASH
- 「授業改善推進校の取組紹介(宇品小学校)」

広島市教育センター

**センター事業紹介 教員長期研修 ～教科・領域における専門的知識・技能の向上を目指して～**

教育センターでは、「教科・領域における専門的知識・技能の向上」を主な目的として、教員長期研修を実施しています。今年度は、幼稚園・小学校・中学校より9名の先生方が、次のような研究主題を設定し、10月から研修に取り組んでいます。

領域	研究主題（仮題）	教員長期研修生
幼稚園教育	思いを伝えることができる幼児を育てるための援助の工夫	落合幼稚園 岡田 幸子
国語科教育	小学校国語科低学年「読むこと」における事柄の順序をとらえる学習指導の工夫	観音小学校 後藤 にいな
	小学校国語科第2学年における、話題に沿って話し合うことのできる力を身に付けさせるための指導の工夫	草津小学校 古川 幸子
社会科教育	小学校社会科における学習意欲の向上を目指した実践的研究	天満小学校 中野 靖弘
算数科教育	小学校算数科第4学年「広さを調べよう」における数学的な表現力を育成するための指導の工夫	川内小学校 原田 美栄
	小学校算数科第3学年「三角形と角」における図形概念を形成する学習指導の工夫	原小学校 栗末 修
理科教育	小学校理科第3学年における問題解決の過程を意識して考察するための振り返りの工夫	福木小学校 河島 享子
	中学校理科における明確な根拠をもち、検証可能な仮説を設定させる指導の工夫	祇園東中学校 勝間 敦史
英語科教育	中学校外国語科第1学年「読むこと」における会話文のあらすじを正確に読み取る力を育むための発問の工夫	五日市中学校 加賀田 裕子

**教員長期研修報告会** 日時：平成28年3月22日（火）13:30～16:45 場所：広島市教育センター

教員長期研修生が進めてきた研究の発表会を開催します。ぜひご参加いただき、これからの教育活動にお役立てください。なお、参加希望の方は、お気軽に教育センターまでお問い合わせください。

**学校紹介**

**ICTを活用した情報の共有化**

**城山中学校**

城山中学校では、校内で意識統一をしてICTを校務や授業で活用することにより、「教育の情報化」を推進しています。その際、次の7点に留意して取り組まれています。

- ① 校務文書の共有
- ② 各教科の教材（デジタルコンテンツ）の共有
- ③ ICTを使う機会を意図的に設定
- ④ 時間や資源の効率化
- ⑤ 児童生徒情報の蓄積
- ⑥ 情報教育の体系的な推進
- ⑦ 授業での効果的なICT活用

ここでは、ICTを活用した情報の共有化に焦点を当てて、①と②を紹介します。

**① 校務文書の共有**

- ・データ保管の場所の統一  
(年度、学年、校務分掌、教科等のフォルダを作成)
- ・ファイル名の付け方の統一  
(例 160218\_卒業式\_作成者)

職員会議資料用フォルダー

**② 各教科の教材（デジタルコンテンツ）の共有**

- ・教科フォルダに教材を蓄積
- ・コンテンツ作成は、使用ソフトとフォーマットを統一
- ・著作権に配慮して作成

直方体の対角線の長さを求めなさい。

共有化されているデジタルコンテンツ例


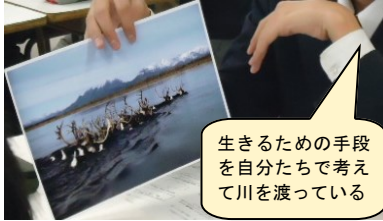
## 対話的な学びの過程を実現するための発問の工夫

祇園東中学校  
中本賢一教諭の実践より

生徒が主体的・協働的に学ぶためには、「自らの考えを広げ深める」、「対話的な学びの過程を実現する」ことが重要です。今回は美術科鑑賞領域において、こうした視点を踏まえ、学習過程と発問を工夫された実践例を紹介します。単元名「もう一つの声」にちなんで発問に「声」という言葉を取り入れ、学びの過程を意識させるとともに、班交流・全体交流を取り入れた授業です。

目標	○撮影者の心情や意図と創造的な表現の工夫を感じ取り、作品に対する考えを批評し合い、その魅力を味わう。	単元名	もう1つの声
		めあて	写真の「声」を聞いて良さや美しさを味わおう

学習過程	<b>自らの考えをもつ場</b> 星野さん(撮影者)の声を聞いてみれば、写真から何が聞こえてくる？ 1 課題把握・DVD視聴 2 写真について感じたこと考えたこととその根拠をカードに記入	<b>対話的な学びの場</b> 写真と仲間の声を聞いてみれば、何が聞こえてくる？ 3 2のカードを班で交流 4 意図的な指名をしながら全体交流	<b>自らの考えを広げ深める場</b> 5 全体交流を踏まえてカードの内容を再考 [再考した声] カリブの力強さ。群れの仲間同士でたまって川を渡っていて、生きるための必死な感じが伝わってくる。 6 本時の学びの振り返り [授業を終えて] 自分の意見を考えたときはその見方しかできていなかったけど、他の人の意見を聞くことで、1枚の写真でもいろいろな見方ができ、見方を広げることができた。 ゆっくり見ると、自分で想像してその写真の情景をいろいろ考えることができた。
			
		生きるための手段を自分たちで考えて川を渡っている	

# 教育最前線 | 教育委員会発！ 情報FLASH

指導第一課から

## 他者と協働して課題を解決する ～探究的な学習の「整理・分析」する活動の工夫～

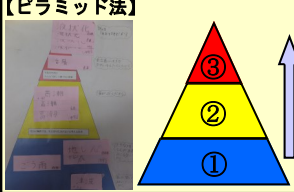


宇品小学校

探究的な学習プロセスのうち、「整理・分析」の過程を充実させた中学校の取組を先月号で紹介しました。今月号では、今年度、授業改善推進校として生活科・総合的な学習の時間の研究に取り組んだ宇品小学校の取組を紹介します。本校では、考えや意見の異なる他者と話し合うことを通して、相手の意見を理解し、異なる意見をも取り込んで、自分なりに納得できる考えを見出せるようにしています。(本校ではこれを「折り合い」と呼んでいます。)次の場面は「整理・分析」の学習において、話し合う際に子どもたちの思考が拡散しないよう、焦点化する思考ツールを活用した例です。

### 「整理・分析」の場面

第5学年「守ろう!ふるさと宇品の人と町～災害から守るんジャー～」

めあて：宇品で気を付けた方がよい災害を考えよう

可視化	I 調べた災害を付箋に書き出す。(例)「液状化」「ごう雨」「洪水」「高潮」「津波」「台風」等	
交流	II <b>【グループ交流】</b> ピラミッド法(思考ツール)を使って「宇品に起きる災害」に焦点化する話し合いをする。 <b>【ピラミッド法】</b>  <ul style="list-style-type: none"> <li>③ ②の中から、宇品のためにみんなで詳しく調べたい災害を選び出す</li> <li>② ①の中から、理由に納得でき、気を付けた方がよいと考える災害を選び出す</li> <li>① 全員の付箋を貼り出す</li> </ul>	III <b>【全体交流】</b> 他の班が整理したシートと比較しながら、「宇品に起きる災害」について全体で話し合いをする。 
	 <p>・宇品は海が近いから津波の危険が高いね。 ・埋め立て地だから液状化現象が起きるかもしれないね。</p>	
振り返り	IV 他班の意見を聞いて自分の考えに取り入れたり、考えを深めたりして、次の授業で解決したい課題を設定する。 